

3章 情報の種類と評価

情報探索の計画をたてるときの前提となる
さまざまな情報の種類と
その評価の方法について説明します

25

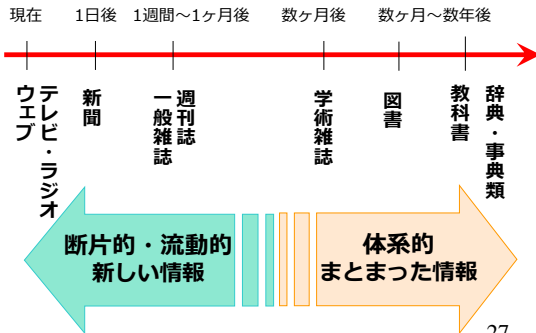
適切な情報収集のために

「とりあえずネットで検索」は効率が悪い?!
課題を把握したら、情報を探し始める前に
計画を立てましょう

- ☑情報の生産と流通の過程を知る
- ☑情報の種類や特徴を把握する
- ☑求める情報へのアクセス・入手方法を選択する
→詳しくは4章～9章へ

26

情報の生産と流通



27

各媒体の特徴→章末参照

<p>【図書】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ある事柄について概要を知ることができる ・信頼性は高いが、速報性に欠ける 	<p>【論文】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・具体的な問題についての実験・調査結果や、最新の研究について知ることができる ・特に査読論文は、学術的にも信頼性が高い
<p>【新聞】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・最近の事柄について知ることができる ・記者が取材に基づいて執筆するため、信頼性がウェブサイトよりも高い 	<p>【ウェブサイト】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今起こっている事象について知ることができる ・情報源に直接アクセスできる場合もある ・誰がいつ書いたものかなど、内容の正確性に留意する

28

目的にあった情報源を使う

- ステップ1：そもそも**予備知識**がない
→辞書・事典・インターネット
- ステップ2：**全体像**や**基本的な知識**を得たい
→図書
- ステップ3：**最新の研究動向**や**専門的知識**を知りたい
→学術論文
時事的な問題、社会的問題を扱う
→新聞記事

※インターネットの検索エンジンで関連サイト、文献情報を補完する情報がないかチェックする

29

情報を扱うときの注意

- ・できるだけ情報の根元に迫る
= 孫引きはしない
- ・使用する資料が信頼のおけるものかどうかを判断する
= 内容について、その根拠を提示しているか
根拠の出所が明示されているか
誰が、いつ頃書いたものか
- ・情報を鵜呑みにせず、批判的に読む
= 著者の論理や根拠、証拠は正しいか？
書き手の理論や進め方をほかの可能性も含めて検討する。「批判的」とは非難することではない

各種メディアと機能のまとめ

メディア	使い方	特徴	評価ポイント	探し方
ソーシャルメディア (Twitter, Facebook, ブログ等)、 ウェブサイト	<ul style="list-style-type: none"> 現在起きている出来事を知る 情報収集の入口として使う 	<ul style="list-style-type: none"> 速報性に優れる 断片的 玉石混濁 現場の音や映像など生の情報が得られることが多い 	<ul style="list-style-type: none"> 誰が発信しているか どのサイトで発信しているか(大学や政府サイトはある程度信頼できる) 単なる個人の意見・感想ではなく、引用元や出典が明記されており、客観性、妥当性が担保されているか いつ配信されたものか 	検索エンジン (GoogleやYahoo!など)
テレビ, ラジオ	<ul style="list-style-type: none"> 現在起きている出来事を知る 専門家の意見を知る 記録として残らないため、引用するのは難しい 	<ul style="list-style-type: none"> 速報性に優れるが、ウェブサイトよりもまとまっている 視覚・聴覚から情報を得られる 記者が根拠・証拠に基づいて報道 情報の取舍選択が行われている 過去分へのアクセスが難しい 	<ul style="list-style-type: none"> 単なる個人の意見・感想ではなく、客観性、妥当性が担保されているか いつ放送されたものか 	放送ライブラリー http://www.bpcj.or.jp/ DVDなどで刊行されていないか確認
新聞	<ul style="list-style-type: none"> 時事的な問題を調べる 最新の出来事について、ある程度まとまった情報を得る 専門家の意見を知る 出版当時の社会情勢や世論を知る 	<ul style="list-style-type: none"> 速報に比べて情報量が増加 記者が根拠・証拠に基づいて書く 情報の取舍選択が行われている 	<ul style="list-style-type: none"> 誰が書いているか(新聞記者か、専門家か) どの新聞社の記事か(新聞社によって同じ事象でも書き方が異なる) いつ発行されたものか 	新聞データベース 新聞社ウェブサイト →詳細は第7章
週刊誌, 一般雑誌	<ul style="list-style-type: none"> 1週間~数か月ほど前の時事的な問題の概要を知る 一般的に論文中で根拠としては使わない 出版当時の社会情勢や世論を知る 	<ul style="list-style-type: none"> 速報性は上記の媒体に劣るが、概ね数か月以内の事象が扱われる 新聞よりも詳細な内容 世間の関心が集まる内容が掲載される 	<ul style="list-style-type: none"> 誰が書いているか(その分野で信頼できる人が、記者か) その分野で信頼できる人が、記者か) 出典が明記され、確認でき、且つ信頼できる情報源か どの出版社が刊行したものか、広告主は誰か(広告主の影響はないか) 	KOSMOS(論文・記事検索) →詳細は第5章
学術雑誌	<ul style="list-style-type: none"> 最新の研究成果を知る 論文の書き方の原本にできる テーマに関する文献や情報源を知る 論文の根拠として引用する 	<ul style="list-style-type: none"> 研究者が研究成果を発表する媒体 査読制度(専門家が掲載について審査を行う制度)があるため信頼性は高い 	<ul style="list-style-type: none"> 査読の有無 いつ出版されたものか(最新の情報か) 	KOSMOS(論文・記事検索) →詳細は第5章
図書	<ul style="list-style-type: none"> あるテーマについてまとめた情報(概要)を得る 今までの議論の流れや現時点での課題を知る 専門的な知識を得る 	<ul style="list-style-type: none"> あるテーマについてまとめた情報を提供 作成までに時間がかかるため速報性は低い 信頼性は高い 	<ul style="list-style-type: none"> 誰が書いているか(研究者かどうか) どの出版社が刊行したものか(学術出版社、一般の出版社) 	KOSMOS(所蔵資料と電子資料)、CINI Booksなどの総合目録 →詳細は第4章
辞書、事典 レファレンス資料	<ul style="list-style-type: none"> 専門用語を確認する 関連用語を確認する あるテーマについて簡単に全体像を知る 	<ul style="list-style-type: none"> ある事柄や言葉について、基本的な知識を提供 作成まで非常に時間がかかるため、最新の情報や動向には弱い 信頼性は高い 	<ul style="list-style-type: none"> 全般を対象にしたものか、専門分野に特化したものか 	KOSMOS(論文・記事検索) →詳細は第4~6章

情報の鮮度と価値

情報の信頼性と価値